

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2013. 4. 15

下水道機構の『新技術情報』 第88号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

ご存知のように先週末に深度6弱の淡路島地震が発生しました。大きな人的被害はなかったとのことですが、民家の瓦が落ちたり、液状化現象や地割れも見られたとのことで、被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第88号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・4/11(木)の技術サロンは東京都下水道局の新谷計画課長をお迎えして開催しました
- ・3/28(木)に津波シミュレーションモデル利活用検討委員会(最終回)を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、特に行事はありません

■Tea Break

- ・一春(資源循環研究部 小川さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回から2回にわたり、4/1 着任の職員自己紹介をお届けします！

■国からの情報

- ・4月11日付、下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●4/11(木)の技術サロンは東京都下水道局の新谷計画課長をお迎えして開催しました

今回は、機構が公益財団法人に移行して初めてのサロン。テーマは「東京都下水道事業経営計画2013」でした。当日は定員80名を越える満席で、新谷課長から区部の経営計画2013について「ここだけの話ですが…」と資料を見ただけでは分からないお話しもいただきました(専用サイト登録者は来月頃、専用サイトにて資料をご覧くださいませ)。

さて、次回のサロンは、5月9日木曜日17:00から。ゲストに横浜市環境創造局管路保

全

課の竹内課長をお迎えして「横浜市下水道管路事業の課題と展開」についてお話しいただきます。多数の皆様のご参加をお待ちしております！

お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●3/28（木）に平成24年度第4回津波シミュレーションモデル利活用検討委員会（最終回）

を開催しました

津波による浸水が想定される処理場やポンプ場を対象として津波シミュレーションを活用することで、効果的な耐津波対策の実施が可能になります。本委員会は、津波シミュレーションモデルを利活用する際の基本的な考え方や留意事項を取りまとめると共に、津波シミュレーションの利活用方法を明らかにする技術マニュアルの策定を目的としております。

第4回委員会では、「津波シミュレーションモデル利活用マニュアル（案）」の最終取りまとめに向け、津波シミュレーションの適用が有効なケース等について審議され、ご了承を得ました。

今後、最終修正を行い、近日中に技術マニュアル発刊する予定です。（ご質問、ご相談は研究第一部までお願いします。）

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

●第315回 技術サロン

5月9日（木） 17:00~18:00@下水道機構8階会議室

ゲスト：横浜市環境創造局下水道管路部 管路保全課長 竹内徹也 氏

テーマ：横浜市下水道管路事業の課題と展開について

※参加お申し込みはこちら→

<http://www.jiwet.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break（機構職員の感じるまま）

。○。

●一春一（資源循環研究部 小川さんからの投稿です）

この春わが家では、娘が小学校へ入学しました。ピカピカの一年生、毎朝早起きして小さな背中に大きなランドセルを背負う姿はとても愛らしい光景です。

このランドセル、既にご存知の方も多いと思いますが、現在ではカラーバリエーションの豊富さ、A4クリアファイル対応の大きさ、それでいて軽量であることに大変驚かされました。私が子供の頃は「ランドセルと言えば、男の子は黒、女の子は赤」というのが定番でしたが・・・

入学式にあわせ、奮発して一眼レフカメラを購入しました。桜の満開の下での記念撮影

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○＜PPP/PFI への期待と課題＞PPP/PFI 検討会「中間整理公表」【下水道企画課】

●佐賀市上下水道局下水浄化センターが日本水大賞・未来開拓賞を受賞【佐賀市】

●下水汚泥集約化事業の供用開始について【京都市】

=====

○＜PPP/PFI への期待と課題＞PPP/PFI 検討会「中間整理公表」【下水道企画課】

平成 24 年 12 月より 4 回開催いたしました標記検討会の中間整理を公表いたしました。

下水道事業の課題、PPP/PFI への取組状況、PFI 事業の効果などを記載していますが、一番のみどころは、自治体・企業を交えたディスカッションを踏まえた

「PPP/PFI への期待と課題」の整理です。PPP/PFI への期待・課題など率直な意見を取りまとめており、今後の下水道事業における PPP/PFI の方向性を検討するヒントがふんだんに掲載されています。今年度も検討会を継続し、PPP/PFI になじむ分野などを明らかにした上で、自治体の PPP/PFI への取り組みを支援するためのガイドラインを策定する予定です。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000258.html

●佐賀市上下水道局下水浄化センターが日本水大賞・未来開拓賞を受賞【佐賀市】

漁業者、地元農家、家庭菜園者等々、市民と勉強会を通して下水処理、汚泥処理を考え、到達した共通認識をもとに (1)海苔養殖に適した下水処理、(2)下水処理水の農業利用、(3)下水汚泥の堆肥化により緑農地還元、(4)汚泥処理の過程で発生するメタンガスを有効利用したガス発電、(5)地元住民、幼稚園児と一緒に場内畑で農業体験を実施。

そのことで、地域が潤いみんなが喜び「日本水大賞、未来開拓賞」を受賞できることを市民のみなさんと一緒に喜びを分かち合いたい。

●下水汚泥集約化事業の供用開始について【京都市】

京都市では、「京（みやこ）の水ビジョン」を経営戦略の柱として事業を進めており、その前期 5 箇年の実施計画である「京都市上下水道事業中期経営プラン（2008－2012）」において、経営効率化のための施設規模の適正化に取り組んできました。その成果のひとつとして、市内 3 箇所の水環境保全センター（鳥羽・伏見・石田）及び鳥羽水環境保全センター吉祥院支所での処理工程で発生する汚泥を鳥羽水環境保全センターに集約し、一括処理する事業を 4 月から開始しました。

本事業では、老朽化した各センターの汚泥処理施設の改築更新にあわせて、鳥羽センターに施設を集約し、各センターからは汚泥を圧送することで、これまで一部で実施していた脱水汚泥のトラック運送も廃止します。これにより、施設の改築更新に係る建設コストや運転に係る維持管理コストを縮減するとともに、周辺環境への影響も改善されます。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/page/0000147128.html>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■「災害復旧支援マニュアル説明会」の開催について【日本下水道管路管理業協会】
(4月15日～6月21日、全国12都市で開催)

<http://www.jascoma.com/jigyo/index-gyoji.html>

→4月5日掲載

■「老朽化した埋設カルバートの復旧に関する研究報告会」(既設および更生管きよの力学挙動と設計に関する技術資料の技術説明会)の開催について【地盤工学会】
(4月18日開催)

http://www.jiban.or.jp/index.php?option=com_content&view=article&id=1395&Itemid=78

→2月22日掲載

=====

【参考情報】

◆富士経済、中国の水ビジネス市場の調査結果を発表 <4/4 日本経済新聞>

<http://release.nikkei.co.jp/detail.cfm?relID=334480&lindID=5>

◆重文の下水処理施設一般公開 東京、赤れんが当時のまま <4/5 日本経済新聞>

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDG0502H_V00C13A4CC1000/

◆南海トラフ巨大地震:県が液状化危険度を想定 「かなり高い」21.5倍に / 香川 <4/5 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/kagawa/news/20130405ddlk37040500000c.html>

◆東日本大震災:福島第1原発事故 下水汚泥問題 福島・減容化実証実験施設の落成式で石原環境相「他地域にも早期に」 / 福島 <4/7 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/fukushima/news/20130407ddlk07040034000c.html>

◆低気圧:浸水被害160件 各地でがけ崩れ、停電も1500軒に / 神奈川 <4/8 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/kanagawa/news/20130408ddlk14040108000c.html>

◆大雨:県内も 床上浸水が74棟 いわきで91.5ミリ、観測史上最大 / 福島 <4/8 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/fukushima/news/20130408ddlk07040051000c.html>

◆東京都が液状化予測図の最新版公開、2万件の地質データ使用 <4/10 日本経済新聞>

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK0900Y_Z00C13A4000000/

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/>
